

第2部

(あい) 「魔法の水、えひめ AI」で生活を楽しく、地域をきれいにしましょう。

16:05~16:35

アロマセラピスト:小西 真理さん(貝塚市)

田島 弘美さん(堺市)

えひめ AI をご存じでしたか。えひめ AI は自宅で簡単に作れ、川をきれいにする魔法の水(洗剤)です。TV番組の、所さんの『笑ってこらえて』で、えひめ AI が取り上げられるほど、全国の皆さんにも浸透しているそうです。開発者の曾我部先生は、1998年頃からのアコヤ貝の大量死、それは家庭排水が原因のひとつではないかと言われていました。そこで家庭排水をきれいにする家庭資材を開発しようという思いに至ったと聞いております。又、えひめ AI の特許をとらないことで、誰でも簡単に生活に取り入れ、たくさんの方に使ってもらい、全国の“水”がきれいになり、地球が日に日に浄化されることを望んでいます。3年前にはある地域で一番汚い川を探し、その地域でえひめ AI を使用し、当初鼻をつく悪臭とヘドロのドブ川が、2年ほどで魚が戻り、子供から大人までが川に入れるまでに改善されたそうです。私たちは、植物の力をたくさん借りて、皆さんの心を癒やすお仕事をしています。少しづつではありますが、植物や水などの自然にお礼がしたくて、私たちの気持ちひとつで川をきれいに出来ることを皆さんに伝えたいと思っています。

開発者「曾我部義明」先生

曾我部先生は、愛媛県庁の経済労働部時代に自宅を研究室に、1年半の土日を食品工場の排水処理施設を借りて自費で開発されました。

後に「えひめ AI」は公式事業となりました。

わたしは、坪田愛華ちゃんの「地球の秘密」を読んで、彼女の地球に対する思いを何とかしたいと考え、今回の発明は、あえて特許を取らず製法を公開しました。

環境に優しい資材として、みなさんで広めていただければ、ミクロの世界の第一歩がきっと、地球をきれいにしてくれると思います。

坪田愛華さんのこと

1979年11月26日鳥根県に生まれる。小さい時から絵を描くことや本を読むことが大好きで、知識豊富な明るい子供だった。1991年、小学6年生の2学期、環境問題について担任の先生から与えられた課題を、得意な漫画で表現し、2ヶ月がかりで

描き上げた数時間後の12月26日

未明、突然の小脳出血に倒れ、翌27日、その12年の生涯を閉じた。

遺作「地球の秘密」は多くの人に感動を与え、世界に広がっている。



「えひめ AI」の作り方

《材料》

ヨーグルト25g
納豆1粒
ドライイースト2g
三温糖25g

500mlのペットボトルに、

- 1) 左の材料をよく混ぜ、水400ml位を加えて混ぜます。
- 2) 35℃の温度で、1週間寝かせ発酵させます。
 - ・夏は外で常温でOKです。
 - ・冬は電気あんななどが利用されています。
 - ・多く作る場合は、熱帯魚用ヒーターが便利です。
 - ・発酵するときに、ガスが発生しますので、栓を少しゆるめておいてください。

2009年

第1部(14:00~15:55)

第2部(16:05~16:35)

講師:小西 真理さん

講師:田島 弘美さん

2月21日(土)

大橋正伸氏 講演会(14:20~15:50)

魔法の水『えひめ AI』のご案内

会場

貝塚市民福祉センター 4F 大会議室

大阪府貝塚市畠中 1-10-1 tel:072-433-7060

ご参加料金

参加費 無料

主催

社団法人 貝塚青年会議所

<http://kaizuka-jc.jp/>

後援

貝塚市

お問合せ

社団法人 貝塚青年会議所 事務局

貝塚市二色南町 4-7 産業文化会館内

TEL:072-439-0118 jc-170@smile.ocn.ne.jp

※駐車場に限りがありますので、電車・バスをご利用ください。

水間鉄道 水間線 『貝塚市役所前』 駅下車徒歩5分

南海本線 『貝塚』 駅下車徒歩15分

●貝塚市民福祉センター



(南海水間線市役所前駅下車徒歩約3分)

お申し込みは、e-mail もしくは、FAX でこの用紙をご返信ください。(締切:2月10日(火) /定員になり次第、終了とさせていただきます)

2/21 親子の夢+ECOセミナー-申込書

FAX: 072-439-0207

名前	(男・女)	電話番号	
住所			
参加人数	名	E-mail	

